

日時:4月15日(土) 15:30~18:00
場所:千葉市生涯学習センター 大研修室

テーマ:『知って得するCBCの読み方・考え方』

演題内容
演題1「そのまま返してはいけない! CBCの異常値とその対処方法」

千葉大学医学部附属病院 検査部 佐藤 有華 技師

演題2「実症例から学ぶCBCの読み方・考え方」

千葉大学医学部附属病院 検査部 仙波 利寿 技師

～いままら聞けないシリーズ～

演題3「みんなで考えよう。CBCから見える病態解析」

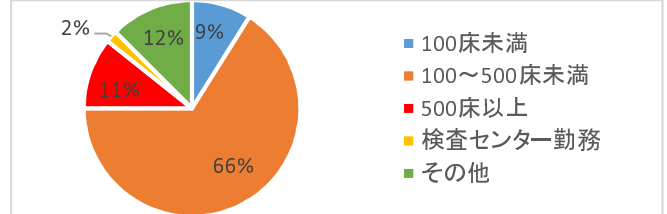
千葉大学医学部附属病院 検査部 仙波 利寿 技師



アンケート結果(回答56件)

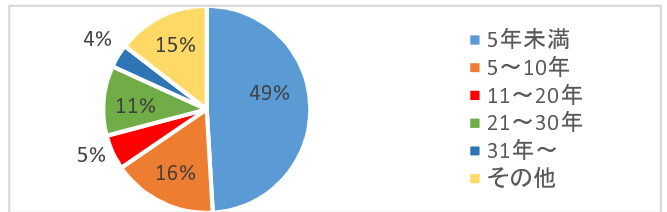
1. あなたの勤務先の病床規模はいくつですか?

100床未満	5
100～500床 未満	37
500床以上	6
検査センター勤務	1
その他	7



2. あなたの血液検査経験年数は何年ですか?

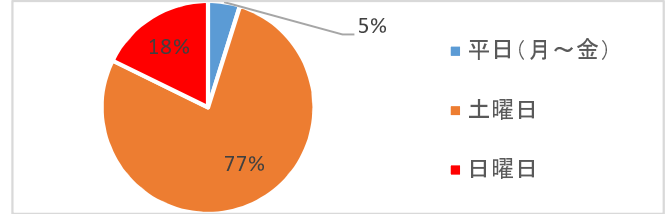
5年未満	27
5～10年	9
11～20年	3
21～30年	6
31年～	2
その他	8



3. 研修会開催について、ご希望の曜日または時間はありますか?

平日(月～金)	3
土曜日	48
日曜日	11

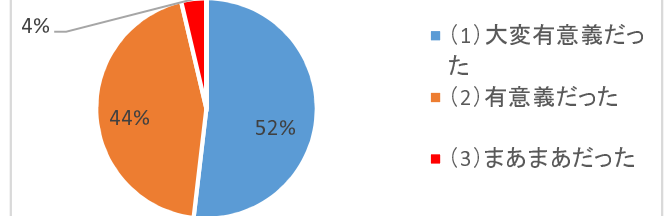
・14時から ・PMから ・15時から ・平日18時から



4. 今回の血液研修会についてどのような印象をお持ちですか?

(1)大変有意義だった	28
(2)有意義だった	24
(3)まあまあだった	2
(4)もの足りない	0
(5)非常に不満足	0

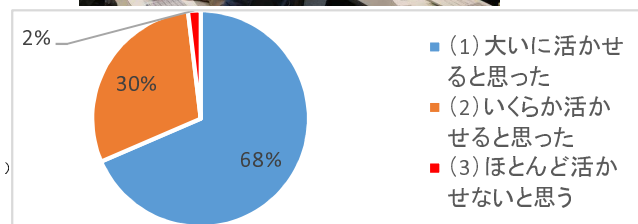
・検査室の規模が小さく、2人で検査全般をやっているような状態で、なかなかそれぞれの分野の勉強をし辛いので、血液検査の基本となるCBCについて専門用語や病名も説明して頂きながらの内容でありがたかったです。(1)
 ・日常業務にすぐに生かせることのできる内容で大変ためになった。(1) ・ルチンに即した内容でよかった。(1)
 ・ディスカッションは良かった。(2) ・様々な方の意見が聞けた。(1) ・ディスカッション形式は大変良かった。(2)
 ・血液をやりはじめて間もないので、初級の私にはとても参考になった。 ・症例で色々考えるのがすごくためになりました。(1)
 ・普段当直の業務でしか血液検査をやらないので、CBCの異常値は大変勉強になりました。(2)
 ・生理担当なので、やや難しかった。(2) ・初心者向けだと思って参加し少し難しく感じた。(2)
 ・ディスカッションや基本的なところの講義。(2) ・CBC生化学検査との関連、追加検査から症例への導き方、参考になりました。(2)
 ・いつも行っている検査なので、知識の再確認ができた。(1) ・症例を見て考えられたので良かった。(2)
 ・新人研修に大変役立つ内容でした。(1) ・赤血球形態の重要性を益々感じた講演でした。症例検討会は良かったです。(1)
 ・ディスカッション形式は初めてでしたが、周りの意見が聞けて良かった ・CBCの見方が分かった。(2)
 ・赤血球凝集37℃で15分を行っていたため、30分も参考らせて頂きたいと思います。CBCと生化学の結びつきが分かりやすくなりました。(1)
 ・血液検査の基礎が学ぶことが出来ました。症例を知ることで実際のもの結び付けやすかったです。(1)
 ・実症例を用いて実際に自分で考えるディスカッションパートがあったので、受け身だけではなく、より記憶に残る研修会だった。(1)



5. 研修内容は今後の職務に活かせると感じましたか?

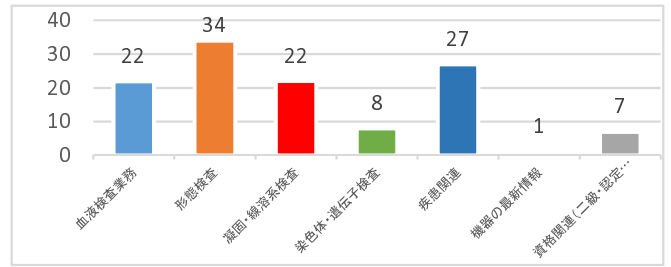
(1)大いに活かせると思った	37
(2)いくらか活かせると思った	16
(3)ほとんど活かせないと思う	1

・前回値と見比べて同じくらいならよし、解釈したらDr.に報告くらいやり方なので、きちんと異常値の原因を考えられるように今回の内容を活かしたいと思います。(1) ・ディスカッションの症例が難しいものもあり、やりごたえがありました。(1)
 ・アルブミンの使用の事を初めて知りました。(1) ・フローチャート形式で分類していったのですごく分かりやすかったです。(1)
 ・主に生理機能検査だが、データを見るのは基本となるためよかった。 ・CBCの順を追って試してみることがよかった。(1)
 ・検査値から患者の病態を把握できると思ったから。(2) ・血液に関わっていないが、データを見て少し考えてみたいと思った。(2)
 ・血液データの見方、どこにポイントを見て考えるか勉強になった。(2) ・CBCの他に生化学もあったので参考になった。(1)
 ・私は日直当直の血算を扱っているが、その場面で活かすことが出来る内容だった。(1) ・日常検査で良く遭遇するものが多かった。(1)
 ・実症例から学ぶCBCの読み方・考え方からのディスカッション形式、大変有意義でした。次回もお願いします(1)
 ・像を外注に出す病院ですが、CBCや生化学からどの疾患かな?と考えられると思いました。(1)
 ・今後の業務でも次の検査へのアプローチが良くなり活かしていきたいです。(1)



6、今後の血液研修会の内容について、一番関心の高いものはなんですか？（複数回答可）

血液検査業務	22
形態検査	34
凝固・線溶系検査	22
染色体・遺伝子検査	8
疾患関連	27
機器の最新情報	1
資格関連(二級・認定血液)	7
その他	1



7、今後、希望する研修会テーマはございますか？

- ・ありがとうございました。 ・骨髄検査について
- ・普段の検査で悩んでいる事(相談・質問コーナーのような)。 ・今後とも症例と形態検査をお願いします。
- ・輸血、凝固を改めて勉強したいです。 ・輸血の基本的な流れについて。今の当施設の方法は合っているのか不安ある。
- ・今回のようなR-CPCは良かったと思いました。
- ・赤血球形態の鑑別のやり方⇒標本のどこら辺から見ていき、どのくらいあったら(+)、(++)など。
- ・生化学担当なので大変勉強になりました。

8、血液検査研究員になにかご意見はありますか？

- ・グループディスカッション後の発表は、あまり意味が無かったのではないかと思います。発表時にその都度フロアーや演者とディスカッションがあるわけでもなく、最後に解説があるなら各自解いて、解説するだけでいいんじゃないかと思います。
- ・ディスカッションは他病院の方とお話できて良かったです。 ・ディスカッションの症例4が難しかったです。
- ・空調が無くて部屋が暑かったのがつらかったです。
- ・受付時間を設けてほしいです。 ・ディスカッション形式は有意義でした。いつもエコーをやっているのでも、基本的なことを教えてもらいました。
- ・ディスカッションの方法は初体験でしたが、非常に勉強になりました。
- ・初級者の研修会では血液担当ではない人もいると思う。ディスカッションは正直大変だった。

